

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
社会的養護 Principles of Child Welfare		1年	前期	金曜日・3時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (保育士養成課程必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
障害児保育Ⅰ, 児童家庭福祉Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
保育士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
大塚登	本館2階	火・水・木・金の9時から17時	授業中に指示します	
授業の概要				
多くの学生にとって保育士の活躍する現場が保育園以外にもいろいろあることは初耳だと思われるが、何らかの事情により家庭で養育されない児童は社会の手によって育てられ、そこは保育士の活躍する場である。その社会的養護について、歴史、理念、今日の特徴、保育士に求められる資質などを理解することを目標とする。				
授業の到達目標				
親の死亡などによる入所から、親は存在するが児童虐待などにより家庭で養育されず複雑な感情を抱いている児童、あるいは障害が重くて家庭では養育できない児童などに、児童の人権尊重・発達保障の理念の下、安定した生活を提供するためにはどのような制度があり、どのような生活を送っているか、それを保障するための保育士の仕事はどのようなものであるのか理解できるようにする。				
授業の方法				
教科書の解説を中心に進めるが、説明だけではイメージしにくいと思われるので映像資料をできるだけ用意する。説明と映像、毎回授業の最後に小テスト(穴埋め問題と論述問題)で理解の定着を図る。小テストの論述問題でよく書けているものは次の授業の時に紹介するので、参考にして欲しい。				
学習の成果				
①保育士の活躍する場は保育所以外にも児童館や乳児院、児童養護施設、障害児入所施設・通所施設などたくさんあることを理解することができる。 ②社会的養護の場では、人権擁護や発達保障という理念に基づいて養護が実践されていることを理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(授業のねらいと進め方、評価の方法)、児童養護の現状			
第2回目	社会的養護の歴史と今日的課題・DVD資料			
第3回目	新たな社会的児童養護の体系			
第4回目	社会的養護の理念と施設養護の原理原則			
第5回目	発達課題と社会的児童養護			
第6回目	里親制度・DVD資料			

第7回目	施設における児童養護Ⅰ(助産施設と乳児院, 母子生活支援施設)・映像資料		
第8回目	施設における児童養護Ⅱ(児童養護施設)・映像資料		
第9回目	施設における児童養護Ⅲ(情緒障害短期治療施設と児童自立支援施設)・映像資料		
第10回目	施設における児童養護Ⅳ(福祉型障害児入所施設)・映像資料		
第11回目	施設における児童養護Ⅴ(医療型障害児入所施設)・映像資料		
第12回目	施設における児童養護Ⅵ(児童発達支援)		
第13回目	児童福祉施設の運営管理と財政措置Ⅰ(サービス評価など)		
第14回目	児童福祉施設の運営管理と財政措置Ⅱ(求められる倫理, 職員の資質など)		
第15回目	試験と解説		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		14%	授業に遅刻せず出席し、私語をせず、授業に集中し、メモをとる受講態度であれば毎回1点を与えます。質問してくれた場合は加点します。
レポート			
調査報告書			
小テスト		28%	小テストでは知識の定着を図る穴埋め問題と自分の言葉でまとめる論述問題を出すので、授業の内容をふまえて自分なりの考えを述べてください。2点×14回=28点
中間・学期末試験		58%	毎回の小テストから多数出題するので、よく復習して試験に臨んでください。
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
新選児童養護の原理と内容 (株)みらい			
履修上の心得・ルール			
6月末～7月頃の土曜日に、乳児院、児童養護施設、児童発達支援事業所の見学を実施します。成績とは関係ありませんが、興味のある学生は参加してみてください。			